

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 2021年07月 >>

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

最近の記事

- (07/15) [ファイザーのワクチンは3回接種が必要か？](#)
- (07/13) [RSウイルスについて: Respiratory syncytial virus](#)
- (07/12) [急性細気管支炎](#)
- (07/09) [中等症以上の喘息治療は3剤併用療法が有効？](#)
- (07/05) [ファイザーのワクチンによる心筋炎](#)

最近のコメント

- [中等症以上の喘息治療は3剤併用療法が有効？](#) by (07/11)
- [大腸ファイバー検査の適正な間隔は？](#) by (07/07)
- [自宅療養の新型コロナ軽症患者における長期症状](#) by (07/06)
- [ファイザーのワクチンによる心筋炎](#) by (07/06)
- [ファイザーのワクチンによる心筋炎](#) by (07/05)

タグクラウド

カテゴリ

- [小児科](#)(198)
- [循環器](#)(217)
- [消化器・PPI](#)(139)
- [感染症・衛生](#)(224)
- [糖尿病](#)(118)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#)(95)
- [インフルエンザ](#)(105)
- [肝臓・肝炎](#)(61)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(47)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#)(44)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(30)
- [ワクチン](#)(52)
- [癌関係](#)(11)
- [脂質異常](#)(28)

<< [糸球体ろ過と蛋白尿について](#) | [TOP](#) | [モデルナワクチンの取り扱い説明書・その1](#) >>

2021年04月30日

ファイザーとモデルナのワクチン 妊婦への安全性について

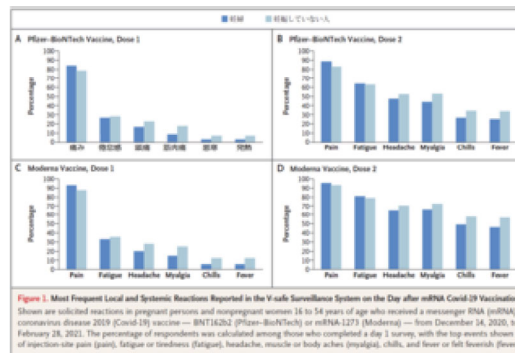
ファイザーとモデルナのワクチン 妊婦への安全性について

Preliminary Findings of mRNA Covid-19 Vaccine Safety in Pregnant Persons
This article was published on April 21, 2021, at NEJM.org



ファイザーとモデルナのメッセンジャーRNA(mRNA)ワクチン接種で、妊婦に対する安全性を検討した論文が雑誌NEJMに掲載されています。CDCがSARS-CoV-2ワクチン接種後の有害事象を追跡するために開発したv-safe after vaccination health checkerサーベイランスシステム(希望者がスマートフォンから登録し、妊娠の有無や接種後の健康状態を自己申告する)を用いて調べています。

- 1) 16~54歳の妊婦35,691人を対象にしています。解析期間は2020年12月14日~21年2月28日です。
- 2) v-safe妊娠レジストリに登録し、ワクチンを接種した妊婦は3,958例です。そのうち分娩が827例で、内訳は生児出産が712例(86.1%)、自然流産が104例(12.6%)、死産が1例(0.1%)、その他の転帰(人工妊娠中絶および子宮外妊娠)が10例(1.2%)でした。生児出産の妊婦の98.3%が、妊娠後期までにmRNAワクチンの1回目の接種を受けています。
- 3) 最も報告頻度が高かった妊娠関連有害事象は、自然流産(46件)、次いで死産、前期破水、腔出血(各3件)です。(結果は下記のグラフをご参照ください。)



むしろ妊婦の方が、一般的なワクチン接種の副反応は少ない印象です。

- [甲状腺・副甲状腺](#)(18)
- [婦人科](#)(8)
- [泌尿器・腎臓・前立腺](#)(38)
- [熱中症](#)(7)
- [日記](#)(19)
- [その他](#)(70)

過去ログ

- [2021年07月](#)(7)
 - [2021年06月](#)(16)
 - [2021年05月](#)(16)
 - [2021年04月](#)(14)
 - [2021年03月](#)(18)
 - [2021年02月](#)(19)
 - [2021年01月](#)(16)
 - [2020年12月](#)(17)
 - [2020年11月](#)(15)
 - [2020年10月](#)(17)
 - [2020年09月](#)(19)
 - [2020年08月](#)(14)
 - [2020年07月](#)(17)
 - [2020年06月](#)(14)
 - [2020年05月](#)(21)
 - [2020年04月](#)(18)
 - [2020年03月](#)(18)
 - [2020年02月](#)(18)
 - [2020年01月](#)(19)
 - [2019年12月](#)(14)
 - [2019年11月](#)(15)
 - [2019年10月](#)(18)
 - [2019年09月](#)(18)
 - [2019年08月](#)(14)
 - [2019年07月](#)(14)
 - [2019年06月](#)(16)
 - [2019年05月](#)(14)
 - [2019年04月](#)(18)
 - [2019年03月](#)(19)
 - [2019年02月](#)(19)
 - [2019年01月](#)(15)
 - [2018年12月](#)(16)
 - [2018年11月](#)(20)
 - [2018年10月](#)(20)
 - [2018年09月](#)(18)
 - [2018年08月](#)(24)
 - [2018年07月](#)(18)
 - [2018年06月](#)(18)
 - [2018年05月](#)(20)
 - [2018年04月](#)(19)
 - [2018年03月](#)(20)
 - [2018年02月](#)(14)
 - [2018年01月](#)(14)
 - [2017年12月](#)(20)
 - [2017年11月](#)(17)
 - [2017年10月](#)(22)
 - [2017年09月](#)(18)
 - [2017年08月](#)(20)
 - [2017年07月](#)(23)
 - [2017年06月](#)(19)
- 以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

Table 3. Characteristics of V-safe Pregnancy Registry Participants.^a

Characteristic	Pfizer-BioNTech Vaccine	Moderna Vaccine	Total
	number (percent)		
Total	2136 (54.0)	1822 (46.0)	3958 (100)
Age at first vaccine dose†			
20–24 yr	17 (0.8)	19 (1.0)	36 (0.9)
25–34 yr	1335 (62.5)	1238 (67.9)	2573 (65.0)
35–44 yr	777 (36.4)	560 (30.7)	1337 (33.8)
45–54 yr	7 (0.3)	5 (0.3)	12 (0.3)

公表された研究およびVセーフ妊娠登録参加者における流産および新生児転帰

参加者報告された結果	一般に公表された研究 ^a	V-safe 本研究†
	研究 ^a %	no./total no. (%)
妊娠が完了した参加者の流産		
自然流産 <20 wk ^{b,c}	10–26	104/827 (12.6)‡
死産: a 20 wk ^{b,c}	<1	1/725 (0.1)‡
生まれたばかりの乳児の新生児転帰		
早産: <37 wk ^{b,c}	8–15	60/636 (9.4)¶
在胎週数に対して低体重児	8.5	23/724 (3.2)
先天異常	3	16/724 (2.2)
新生児死亡	<1	0/724

中期の誤字がありました。
 ワクチンは、何れの時期にも接種されています。

Table 1. Characteristics of V-safe Pregnancy Registry Participants.^a

Characteristic	Pfizer-BioNTech Vaccine	Moderna Vaccine	Total
	number (percent)		
Total	2136 (54.0)	1822 (46.0)	3958 (100)
Age at first vaccine dose†			
20–24 yr	17 (0.8)	19 (1.0)	36 (0.9)
25–34 yr	1335 (62.5)	1238 (67.9)	2573 (65.0)
35–44 yr	777 (36.4)	560 (30.7)	1337 (33.8)
45–54 yr	7 (0.3)	5 (0.3)	12 (0.3)

一般的に公表されている妊娠における転帰と、ワクチンによる妊娠における有害事象の発生に差はありませんでした。
 このことから、mRNA ワクチン接種の妊婦に対する安全性に、警告を発することはないとしています。

4) 考察

本研究において、初期にはリスクの高い医療従事者の積極的なボランティア参加がありました。頭が下がる思いですが、そのため本研究には自ずから制限(limitation)があります。明白なコントロールスタディはありません。(接種時期と重大な有害事象との関連性もsuppleを見ましたが、記載されていません。) また本研究では規模が小さく、新生児の長期予後に対しても今後の研究が待たれます。有害事象の中で一番多いのは流産です。mRNA ワクチン接種により、抗体は胎盤を通して胎児に移行します。それが新生児にとっても有益に働くものと考えられますが、流産の因子とならないかは今後の研究が待たれます。2009年のH1N1インフルエンザの際もワクチン接種後の一番の有害事象は流産でした。そしてワクチンによる抗体が胎児に移行していることも証明されています。繰り返しますが、今後規模の大きな研究結果が待たれますが、今回は予備的研究と言えども安全性に警告を発するほどの事はありませんでした。

私見)

リスクの高い医療従事者の方には、妊娠の場合にmRNA ワクチンの接種を勧める根拠となると思います。しかし一般の妊婦の方には十分な説明が必要となります。近い将来、インフルエンザの様に妊婦にはany time 接種が可能と説明できる日が来ると確信しています。

本論文の陰に隠れている重要な点は、妊娠してもコロナの最前線で活躍している女性の医療従事者がいるということです。しかもワクチンを接種してまで現場から逃避しない、妊娠した医療従事者が多数いるという現実です。緊急事態宣言で飲食店の休業要請がされました。天下の日本医師会長が休日にワクチン接種日を設けて、全国の医師会員に緊急強制事態命令を発令したら、私はしぶしぶ手弁当で集団接種会場に駆け付けますが。。。 (歯科医師会の先生方はどんな思いなのでしょう！？)

0

0

いいね!

[ブックマーク](#)

【感染症・衛生の最新記事】

[RSウイルスについて;Respirato..](#)

[自宅療養の新型コロナ軽症患者における長期..](#)

[ブレイクスルー感染](#)

[インド変異株とワクチン・その3](#)

[インド変異株とワクチン・その2](#)

posted by 齋賀一 at 22:08 | [Comment\(2\)](#) | [感染症・衛生](#)

この記事へのコメント

ワクチン、射っていただいた時は全く痛みがなかったのですが、当日の夜からいきなりフラフラする感じと倦怠感、次の日は寒気がずっとして、1日中怠い感じと腕が痛くて、2日目は1日目ではありませんが、倦怠感と腕の痛み、午後からやっと落ち着いてきたら腕が痒くなってきて、うっかりポリポリかいてちゃってました(^_^;)

もう1人具合が悪くなった人がいましたが。

そんなんので、2回目はちょっと次の日休みにしようか案が浮上してきました。

Posted by at 2021年04月30日 23:56

妊婦の人は気になる情報ですね！
悪影響はなさそうで良かったです。

Posted by at 2021年05月02日 00:18

コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

確認する書き込む

